

「県産木材の利用の促進に関する指針（案）」の  
意見募集の結果について

平成31年3月29日  
林業課

1 意見募集の期間及び結果

- (1) 募集期間 平成31年2月20日（水）～平成31年3月19日（火）  
(2) 提出された意見の数 1通

2 主な意見と県の考え方

お寄せいただいた意見（要旨）		意見に対する対応・考え方
1	<p>広島市 30代 男性</p> <p>県内産の木材利用は重要と考える。防災や地域の保全のために県内材を選ぶという消費者の意識を育てることが、個々人の消費を動かすきっかけとなる重要なポイントと考える。</p> <p>そのためにも、県内材に触れる機会（啓発の場）を増やす必要があると考える。学校教育現場、保育、預かりなどで、木材を使った遊具や学習教材を増やすこと、指針でも触れられている登録指導者の活躍の場を作ることで幼児期から自然に触れる・木に触れるという教育にもう少しスポットをあてて頂きたい。</p>	<p>県民の皆様が木に親しみ、触れ合い、木材の良さ及びその利用の意義を学ぶ機会を確保することが必要であると考えているところです。</p> <p>このため、指針（案）では「木育の推進」として、木材の良さや利用の意義を学ぶ教育活動を推進していくこととしております。</p> <p>また、取組を進めるにあたっては、森林の機能や林業について学ぶ森林・林業体験活動等を支援するとともに、森と自然を活用した保育や幼児教育を推進する関係部局とも連携して参ります。</p>

お寄せいただいた意見（要旨）		意見に対する対応・考え方
(続き)	<p>放置林・所有者不明（連絡つかない含む）林に対する自治会の介入と費用の負担などルールの整備や北広島町のせどやまの仕組みなど、自走や成果が見えるなどの取り組みとなる必要があると思う。活動リーダーや企業向けに国内外の成功事例や先進事例を学ぶ場、紹介する場を設けてほしい。</p>	<p>地域における自主的な活動進めるに当たっては、成功事例や先進事例の情報を提供することが重要であると考えています。</p> <p>このため、指針（案）では「普及啓発」として、人材を育成する研修会等の開催や、木育の活動をサポートするボランティア団体等を登録し紹介する仕組みづくりの支援などに取り組むこととしております。</p> <p>また、取組を進めるにあたっては、ひろしまの森づくり県民税を活用した小規模林業経営や住民主体の自主的な森林保全活動などの取組事例の広報に取り組むとともに、成功事例や先進事例を学ぶ研修会の開催等を支援して参ります。</p>
	<p>民間団体などが県内材を活用したワークショップや商品開発をする動きもあるが、販路も限られ、材の消費量が伸びてきてきかないように見える。森づくり県民税などでの支援や啓発教材として、県から消費を斡旋するなど消費のきっかけを作ることも必要ではないか。</p>	<p>県産材利用の促進にあたっては、県産材の販路拡大が重要であると考えています。</p> <p>このため、指針（案）では「新たな用途の開発と販路の拡大」として、首都圏等で開催される展示会での出展機会を確保するとともに、展示会における商談結果のフォローアップを行うこととしております。</p> <p>具体的には、消費者目線で木材利用を評価表彰する「ウッドデザイン賞」への参加の呼び掛けや、東京都が主催する木製品の展示会「ウッド・コレクション」への出展などに取り組んで参ります。</p>